

転倒災害をなくすために

転倒災害の特徴

特徴1 全産業で見ると転倒災害は最も多い労働災害です！

全産業の休業4日以上労働災害、約14万9千件のうち、転倒災害は約3万3千件と最も多く発生し増加傾向です

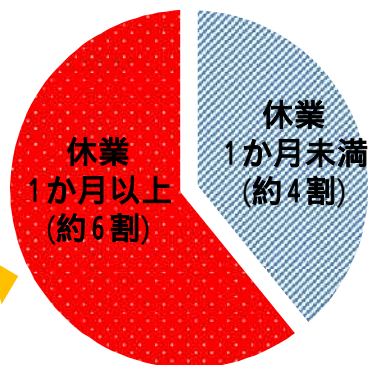
特徴2 特に高齢者で多く発生しています！

高齢者ほど転倒災害のリスクが増加し、55歳以上では55歳未満と比較してリスクが約3倍増加します

特徴3 転倒であっても重症です！

骨折等により休業期間は**約6割が1か月以上**となっています

特徴4 冬季にも多く発生しています！



「転倒」だからといって侮ることなかれ！身長160cmの人が、床で滑って後方に転倒し、後頭部を強打した場面を想像してみてください。この方の後頭部は、高さ約1.5mから墜落したのと同じような衝撃を受けるんです。実際に、このような災害で亡くなられた方もおられます。今回は建設業では死傷災害の1割を占める、転倒災害防止について考えてみましょう。

転倒災害の原因

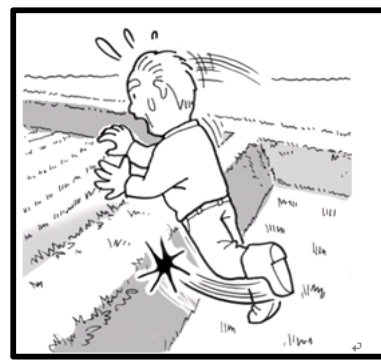
滑り 転倒災害の約5割を占めます



床の油はよく滑ります



凍っている床も滑ります



泥も氷と同様滑ります

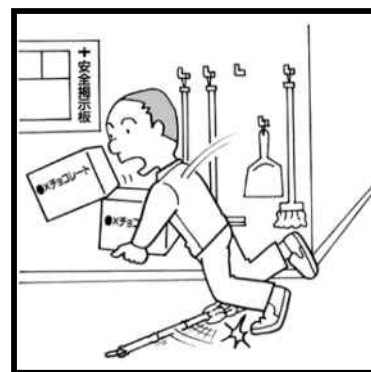
つまづき 転倒災害の約3割を占めます



暗いと見えません



足元は気づきにくい



物を持っていると見えません

踏み外し



階段で手すりを持ってますか

その他



重量物はよるめきやすい



溝は落ちるものです

人はなぜ転ぶのか？

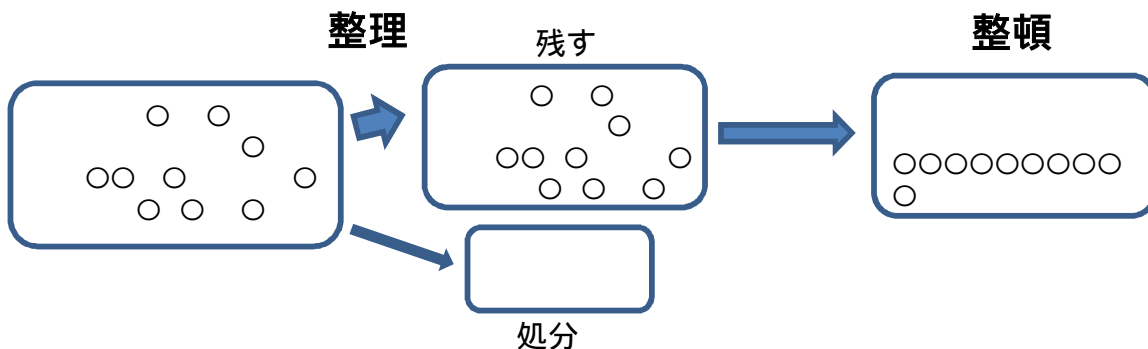
いろいろ理由はありますが、一番単純な理由は「**足元には目がないから**」です。そのため、滑りやつまずきの原因になる、足元の原因を取り除くことが転倒災害防止の一つの解決策です。これには**整理・整頓(4S)**が極めて有効です。

転倒災害防止防止対策のポイント

4S (整理、整頓、清掃、清潔)

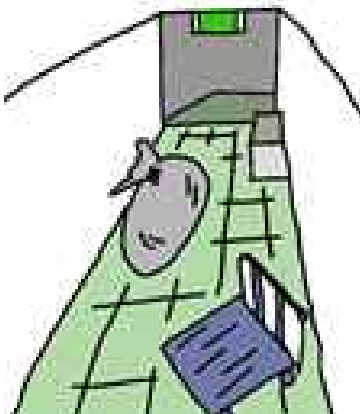
整理とは 必要な物と不要な物に分け、**不要な物を処分**することです。

整頓とは 必要なときに必要な物をすぐ取り出せるように、わかりやすく**安全な状態**にすることです。



清掃とは 身の回りをきれいにして、衣服や作業場のゴミや汚れを取り除くことです。

清潔とは 整理・整頓・清掃を繰り返して、衛生面を確保し、快適な状態を実現・維持することです。



左絵のように通路にごみ、台車が置かれたままの場合

整理: ごみを撤去

整頓: 台車や荷物を収納・整列

清掃: 床を隅々まで清掃

清潔: きれいな状態を実現・維持 となります。

転倒しにくい作業方法

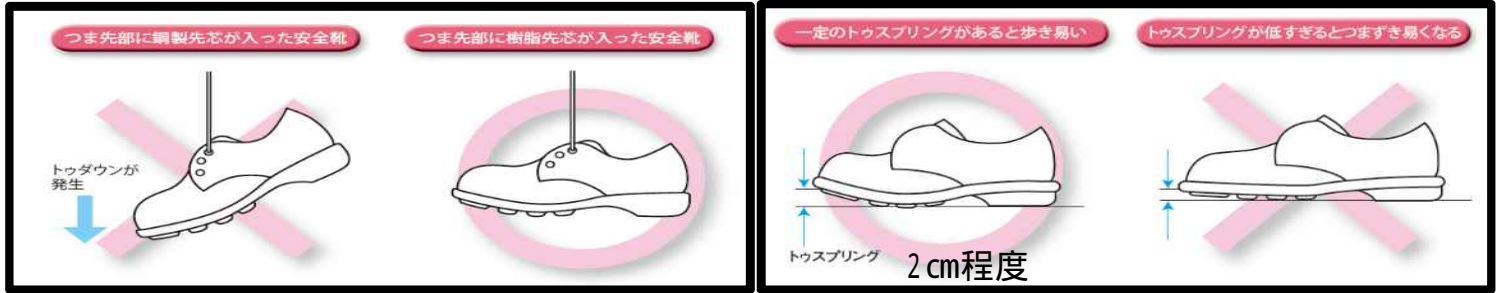
転ばない歩き方は「**焦らず**」、「**急がず**」、「**ゆっくり落ち着いて**」歩くことです。

焦らず、急がないよう 時間に余裕をもって行動しましょう。

滑りやすい場所では **ゆっくり落ち着いて** 小さな歩幅で歩きましょう。

足元が見えにくい状態では作業しないことも大切です。

作業に適した靴を履きましょう



靴の重量バランス

つま先部の高さ



靴の屈曲性

靴の重量(安全靴は短靴で900g以下)
靴底と床の耐滑性のバランス
が靴選びのポイントです。



靴を定期的に点検することも重要です
靴底がすり減ると耐滑性が損なわれ、滑りやすくなります

作業設備の改善

つまづく所がある限り、転倒災害は発生します。階段や通路など、転倒しにくい設備に改善できないか検討しましょう。

仮舗装や敷鉄板の段差を解消する、滑りやすい通路上などはマットやむしろを敷くなどが有効な対策です。



既設舗装と仮舗装の段差



トラテープで鉄板の段差解消



滑り止めマットの敷設

危険場所の見える化

転倒の危険のある場所にステッカーの掲示を行って見える化することも有効です。



左のステッカーは、**STOP!**転倒災害プロジェクトのホームページからもダウンロードできます。

階段の昇降時の転倒・転落事故防止のため、表示類を危険箇所に貼り付けている例



転倒災害防止のチェックシート

あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	
5	作業靴は、作業に適したものを選び、定期的に点検していますか	
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促すステッカー(標識)をつけていますか	
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	